

令和2年コンベンション開催紹介 (後期)

※掲載内容につきましては、新型コロナウイルス感染症等の影響により、開催延期または中止になる場合がございます。

令和2年度 第49回全国老人クラブ大会

【期日】 令和2年11月17日(火)～18日(水) **【会場】** 山形市「やまぎん県民ホール」「山形テルサ」「ホテルメトロポリタン山形」
【人数】 1,800人(県外1,200人) **【主催】** (公財)全国老人クラブ連合会・(一社)山形県老人クラブ連合会

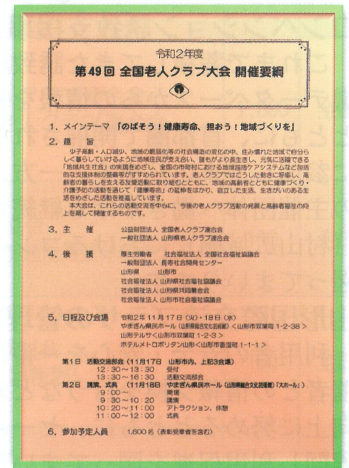


開催県会長
亀谷千代子
(一般社団法人 山形県老人クラブ連合会 会長)

第49回全国老人クラブ大会を11月17日・18日の2日間、山形市内のやまぎん県民ホール・山形テルサ・ホテルメトロポリタン山形の3会場で開催します。

この大会は、「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」をメインテーマに少子高齢・人口減少、地域の脆弱化等の変化の中、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるように地域住民が支え合い、元気に活躍できる「地域共生社会」をめざし、1日目は3つの部会を設け、全国各地で取り組んでいる実践事例を持ちより発表を通して交流をはかります。

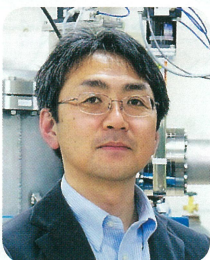
2日目は講演、アトラクションに続く式典において、老人クラブの育成発展に功績のあった方と団体に対して全国老人クラブ連合会会長より表彰状が贈呈され、今後の組織と活動の発展、高齢者福祉の向上に寄与していきます。



大会開催要綱

第23回AMSシンポジウム

【期日】 令和2年12月3日(木)～4日(金) **【会場】** 山形市「ホテルキャッスル」
【人数】 100人(県外90人/国外数人) **【主催】** 日本AMS研究協会・山形大学高感度加速器質量分析センター



大会長
門叶 冬樹
(山形大学学術研究院教授
(兼)山形大学高感度加速器質量分析センター長)

第23回AMSシンポジウムを12月3日・4日にホテルキャッスル山形で開催します。加速器質量分析(AMS = Accelerator Mass Spectrometry)は、宇宙線生成核種の同位体比を高精度で測定できる技術です。近年、国内の施設におけるAMS測定により、考古学、宇宙物理学、環境学、医学・薬学に至る幅広い分野での研究が展開され注目を集めています。本シンポジウムではAMS研究に携わる研究者や学生が、技術開発や応用研究、施設報告について発表し、関連な議論が交わされます。

上山市にある山形大学総合研究所には、北海道・東北地区の大学で唯一の高感度加速器質量分析装置が導入され、考古学、文化人類学、医学、農学、工学、環境科学、宇宙物理学等の分野で活発な教育研究活動が行われています。4日午後には、山形大学高感度加速器質量分析センター及び山形大学東日本重粒子センターの見学を予定しています。



山形大学高感度加速器質量分析装置(YU-AMS)